

平成 2 3 年 1 1 月

甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会定例会
会議録

平成 2 3 年 1 1 月 4 日 開会
平成 2 3 年 1 1 月 4 日 閉会

甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会

平成23年11月甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合定例会会議録

招 集 告 示	2
11月4日	
議事日程	3
本日の会議に付した案件	3
出欠席議員氏名	3
説明のため出席した者の職氏名	3
開会	4
会議録署名議員の指名	4
会期の決定	4
管理者提出議案の上程・提案理由の説明	
議案第10号 平成22年度甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合一般会計歳入歳出 決算の認定について.....	4
議案に対する質疑・組合事務一般について質問	5
討論・採決	7
閉会	7

甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合告示第8号

平成23年11月甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会定例会を次のとおり招集する。

平成23年10月21日

甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合

管理者 宮 島 雅 展

1 期日 平成23年11月4日(金)

2 場所 笛吹市役所境川支所議場

平成23年11月4日 午後3時00分 開議

議事日程

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 議案第10号 平成22年度甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合一般会計歳入歳出決算の認定について
- 第 4 議案に対する質疑及び組合事務一般質問

出席議員	1番 兵道顕司議員	9番 野中一二議員
	2番 鈴木 篤議員	10番 石原 剛議員
	3番 荻原隆宏議員	11番 斉藤憲二議員
	5番 亀山和子議員	12番 森沢幸夫議員
	6番 中川秀哉議員	13番 渡邊清美議員
	7番 中村勝彦議員	14番 小林 始議員
	8番 丸山国一議員	15番 木内健司議員
		16番 高原信道議員

欠席議員 4番 清水 仁議員

説明のため出席した者の職氏名

管理者	宮島雅展	事務局長	石原英樹
副管理者	荻野正直	総務課長	戸澤慎一
副管理者	竹越久高	建設課長	橘田重友
副管理者	田辺 篤	用地課長	上野英男

職務のため出席した事務局職員の氏名

事務局職員	網野光邦	書記	古屋健司
事務局職員	小田切英雄	書記	石川克己
事務局職員	堀口昌賢		

○事務局（戸澤務課長） 開会に先立ち、相互にあいさつをいたしたいと思います。
全員ご起立をお願いいたします。（全員起立 互礼） ご着席願います。（全員着席）

開会【午後3時00分】

○議長（野中一二 君） 只今の出席議員15人、議会は成立いたします。
只今から平成23年11月甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会定例会を開会致します。
これより本日の会議を開きます。
報告事項を申し上げます。
清水仁君から、本日の会議は、欠席する旨の届け出がありました。
次に、監査委員から平成22年度の平成23年2月分から5月分及び平成23年度の平成23年4月分から7月分の例月出納検査報告書並びに平成23年度定期監査報告書が提出されました。
お手元に配付いたしております報告書によりご了承願います。
以上で報告を終わります。
これより、日程に入ります。

日程第1 会議録署名議員の指名

議長（野中一二 君） 日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。
会議録署名議員は、甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会会議規則第80条の規定により、議長において指名いたします。
5番、亀山和子君、13番、渡邊清美君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

議長（野中一二 君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。今定例会の会期は、配付いたしております会期日程のように、本日の1日間といたしたいと思います。これにご異議ありませんか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）
○議長（野中一二 君） ご異議なしと認めます。よって、今定例会の会期は、本日の1日間と決定いたしました。

日程第3 「議案第10号」及び日程第4「議案に対する質疑及び組合事務一般質問」

議長（野中一二 君） 今定例会へ提出する議案について、管理者から送付されました提出議案は、議事日程記載第3のとおりでありますので、朗読は省略いたします。
日程第3「議案第10号」及び日程第4「議案に対する質疑及び組合事務一般質問」を一括議題とします。
管理者から上程議案第10号に対する提案理由の説明を求めます。
（管理者 挙手）管理者 宮島雅展君
（管理者 登壇）

管理者（宮島雅展 君） ただいま議題となりました議案第10号の提案理由のご説明を申し上げます。
議案第10号、平成22年度甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合の一般会計歳入歳出決算につきましては、地方自治法第233条第1項の規定に基づき調製し、同条第2項の規定により、監査委員の審査に付しましたところ、別添の審査意見書の提出がありましたので、同条第3項の

規定により、議会の認定をいただくため、提案するものでございます。

何とぞよろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。私からの説明といたします。

(管理者 降壇・着席)

議長(野中一二 君)提案理由の説明は、終わりました。

これより、議案に対する質疑及び、組合事務一般質問を行います。この際、念のため申し上げます。質疑、質問については、申し合わせ事項を遵守され、重複を避け、簡明にお願い致します。なお、当局の答弁も、その趣旨を十分把握され、簡明率直にされまして、議事進行にご協力をお願い致します。

発言の通告がありますので、発言を許します。石原剛君の発言を許します。

(石原剛議員 挙手)石原剛君

(石原剛議員 登壇)

石原剛議員 組合議会の一般質問をさせていただきます。

本組合のごみ処理施設について、施設建設と運営維持管理の業者を選定するための入札は、一連の募集要項が8月4日に示されまして、この11月16日から入札提案書類の受付が始まります。いよいよ業者の選定も大詰めとなっております。この時期に改めて管理者にお尋ねします。

まず、施設建設についてです。安全で公害の無い施設を適切な価格で建設することが求められています。膨らむ補修費が自治体を圧迫、ガス化溶融炉に問題多発。これは平成19年、2007年12月25日の神戸新聞が報じた記事であります。国のダイオキシン規制で設置が義務化されましたガス化溶融炉、これが儲かるということで、27もの造船鉄鋼企業が参入し、売り込み合戦をしたのが1990年代、しかしその後、爆発事故、予想外の故障、補修費の増大が、設置自治体を苦しめたわけでありまして。このようなことになってはならないと思います。今回の事業はPFIの一形式のDBO方式で、組合が、処理施設の建設、運営に係わる資金調達を行い、運営期間の20年間、施設を所有しますが、処理施設の設計施工、運転維持管理、補修等のすべてが企業に一括委託します。入札は企画立案を含めた総合的なもので、従来の入札と違って客観的な評価が大変難しいと思います。施設は技術的に複雑高度であり、企業からの提案に対して、しっかりと物差しで判断できなくてはなりません。もし入札の公正が確保できなければ、価格が妥当なのか、本当に資材の品質や良心的な工事がきちんと保証されるのかなどについて疑義が生じ、後のトラブル発生の原因にもなりかねません。入札の公正性は、事業にとって不可欠な要素となっております。以上のことを留意した客観的で公正性をもった契約を求めますが、どのような業者選定を行うのか管理者の見解を求めます。また、施設稼働後一定期間の間、故障や不具合が設計施工の段階でのミスや契約不履行に起因するものについて、施工を行った民間業者の費用負担で改修が義務付けられています。最初に挙げました神戸新聞の記事では、瑕疵担保期間が過ぎて自治体負担が表面化して問題となっております。瑕疵担保についてはどのような契約となっているのでしょうか。以上、第一に施設建設について、どのような契約をしようとしているのかお聞かせください。

第二に運営維持管理についてお尋ねします。20年間あまり使う施設でありまして、後戻りはできません。PFI方式の場合、民間の業者による企画立案、運営等に対する公共や議会の関与が極端に弱められ、企業活動への公的チェックが掛けにくいという問題があります。そして事業がうまくいかなかった場合には、全施設を管理者が引き受ける。これは国土交通省のガイドラインに示されておりますが、このような為にそのつけを行政が負担しなければならなくなってしまいます。継続して安定的に、そして適切な運営費で運営させるためには定期的な報告は勿論、随時立ち入り検査を可能とするなど透明性を持たせることが求められます。契約では、運営についてどのように定めているのか、また不慮の事態が起きた時の対応は、どのように考えておられるのか運営維持管理について答弁をお願いします。

最後は地元住民の合意形成についてです。建設地周辺の住民の合意があってこそ安定的に運営ができます。間門地区には、産業廃棄物の最終処分場建設に反対する看板が出ております。また私が聞くところでは、中道地区には中間処理施設にも安全性に危惧を抱いている声もあります。2007年10月のこの議会での質問で、地元だけでなく近隣の住民に対しても十分な説明を行

うべきではないかと私は取り上げましたけれども、今回も周辺住民との合意形成のこれまでの取り組みと今後についての考えをお伺いしたいと思います。以上答弁を求めます。

(石原剛議員 降壇・着席)

議長(野中一二 君) (管理者 挙手) 管理者 宮島雅展君

(管理者 登壇)

管理者(宮島雅展 君) 石原議員のご質問にお答えいたします。

まず、ごみ処理施設の建設についてであります。ごみ処理施設整備事業につきましては、設計・建設から20年間の運営・維持管理までを一括発注するDBO方式といたしました。事業者の選定にあたりましては、公平かつ公正な評価を行うために総合評価方式を採用し、学識経験者と行政関係者で構成した事業者選定委員会を設けております。選定委員会は、落札者決定基準に基づき入札参加者から出された建設・運営等における技術提案を審議したうえで、技術面と価格面を総合的に評価し、最優秀提案を選定いたします。本組合は、この委員会での選定を踏まえ、今年度内に落札者を決定してまいります。

次に、施設の設計・建設における瑕疵については、要求水準書や事業者提案により瑕疵担保内容及び期間を定めて事業者の責任を明確にするほか運転管理に関しては、想定できる様々なリスク分担についてあらかじめ明らかにした契約を結ぶことで維持管理費等の適正化を図ってまいります。

次に、ごみ処理施設の運営であります。ごみ処理施設の運営については、20年間の契約期間における適正かつ安定的な運営を確保するため、運営事業者には日報などの各種業務報告を義務付けるほか、本組合においても、施設への立ち入り検査とともに要求水準及び事業者提案等との適合性や財務状況などの調査を行い、運営業務実施状況の監視を行ってまいります。

次に、緊急時の対応につきましては、事業者提案を勘案しながら想定されるリスクへの回避策を事前に確立させておくことにより迅速な対応を図ってまいります。また、建物や設備の耐震性能の強化、緊急時対応マニュアル等の策定など本組合といたしましても人身の安全確保を第一に周辺への影響を最小限にするよう努めてまいります。

次に、地元住民との合意形成については、本組合の設立前から関係4市内での住民説明会をはじめ、地元、寺尾3地区や中道地区での住民説明会などを重ねる中で、関係4市の市民の皆様にはごみ処理施設整備事業へのご理解を頂いてまいりました。特に、地元住民の皆様には、公害防止基準をはじめとした施設整備や周辺道路整備など本組合が実施する事業につきまして、あらかじめ情報を積極的に開示する中で、事業へのご理解のもとに推進しております。今後につきましても、透明性、公平性の確保を念頭に3事業一体で事業推進を図れるよう万全の体制で取り組んでまいります。

(管理者 降壇・着席)

議長(野中一二 君) (石原剛議員 挙手) 石原剛君

(石原剛議員 自席にて再質問)

石原剛議員 一定の答弁をいただいているわけですが、特に施設の建設については、選定委員会にお任せするということが、学識経験のある方々が入ってやられているということで、そこでお任せするわけですが、決定の後しっかりと報告をしていただきたいということです。それから地元住民との合意形成というのは非常に重要なことだというふうに思います。これまでも努力されてきたと思いますけれども、一層取り組んでいただけますよう要望したいというふうに思います。

そして今日、議題となっております決算の認定については、賛成するということが、一般質問という形で、今後もしっかり広域事務組合議会の、440億からのたいへんなお金を使ってやる事業ですから、議会としてもしっかりと取り組んでいきたいという決意を申し上げまして質問とします。

(石原剛議員 着席)

議長(野中一二 君) 要望ということでよろしいですか。

石原剛議員 はい。

議長（野中一二 君） 通告がありました質問は以上です。これをもって、質疑及び一般質問を終結いたします。

これより、関連質問を認めます。関連質問がある方は、挙手をお願いいたします。尚、申し合わせ事項により答弁を含め15分とし質問回数は、2回といたします。

質問は、ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（野中一二 君） なしと認めます。関連質問がありませんので、これで終結いたします。

これより本案を採決いたします。議案第10号「平成22年度甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合一般会計歳入・歳出決算の認定について」原案のとおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（野中一二 君） ご異議なしと認めます。よって、議案第10号は、原案のとおり認定されました。

以上で本日の日程はすべて終了致しました。これをもちまして平成23年11月甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会定例会を閉会致します。

○（戸澤総務課長） あいさつを交わしたいと思います。

全員ご起立をお願いいたします。（全員起立 互礼） ご苦労さまでした。

閉会【午後3時18分】

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長.....野 中 一 二（自署）

署名議員.....亀 山 和 子（自署）

署名議員.....渡 邊 清 美（自署）